

# 認知症を診る

## ～原因疾患同定における画像の読み方と解釈～

認知症の原因疾患として、約5割はアルツハイマー病(AD)が占める。“第一の認知症”とされる所以であるが、裏を返せば半数はAD以外の疾患に伴う認知症ということになる。疾患が異なれば治療法も異なる訳で、原因疾患の違い、認知症の病型に応じた治療を行う上で、鑑別診断は極めて重要と言わざるを得ない。そこで重要となるのが、biomarkersとしての脳血流シンチグラフィ(SPECT)である。本Web講演会では、画像診断なくしては診断に至らなかった実症例を提示しながら、兎角敬遠されがちな脳血流シンチグラフィ(SPECT)の実戦的な読影方法、臨床像と合わせて見るべきポイント等を解説する。明日からの認知症診療に役立てていただければ幸いである。

演者

**眞鍋 雄太先生**

神奈川歯科大学附属病院

認知症・高齢者総合内科 教授

日時

**2020年8月20日 (木) 19:00 - 19:45**

### 事前登録サイト

URL

[lpage.nmp.co.jp/c](http://lpage.nmp.co.jp/c)



QRコードから  
もアクセスいた  
だけます

事前登録いただいた方には、講演会前日・当日に、リマインドメールを差し上げます。  
認知症関連のお役立ち情報をダウンロードできるサイトをご案内します。

\* 事前登録サイト申し込み期限：8月17日(月) 17時

### 当日視聴サイト

URL

<https://nmp.m3dc-vs.com/>

視聴コード

**nmp200820**



QRコードから  
もアクセスいた  
だけます

講演会開始30分前より、  
視聴ページへアクセスいただけます。

ご視聴当日の  
お問い合わせ先

TEL 050-3186-4559  
8月20日(木) 18:00～19:45

●ご登録いただきました情報は、次回講演会などのご案内に利用させていただきます。上記情報は、日本メジフィジックス株式会社により厳重に管理いたします。